

## 海外実習の情報

医学部医学科 6 年次 M.S

### <受け入れ先>

Institut für Klinische Neuroimmunologie, Ludwig Maximilians Universität München (ドイツ)

### <実習期間>

平成 28 年 2 月 6 日～平成 28 年 3 月 25 日 (29 日間)

### <実習開始までの準備>

英語の勉強 (TOEFL の点数は必要なし)、研究室で行われている研究内容の予習。

### <実習に必要なもの>

動物実験経験の証明書

### <実習内容>

主には二光子励起顕微鏡による CNS イメージング技術の習得でした。ラットの麻酔、手術から始まり、二光子励起顕微鏡を操作して実際にイメージング画像を撮るところまでさせてもらいました。できるようになるまで、イメージング含めて合計 6～7 回練習しました。自分が手術したラットを実際にイメージングして、動いている細胞をこの目で見るのができたときは大変感動しました。

また CNS 以外に脾臓や小腸、リンパ節のイメージングもしていたので、その見学もさせてもらいました。週に 3～4 回顕微鏡室に通っていたと思います。

残りの日はラットに移植する T 細胞などの細胞培養を手伝わせてもらったり、一日中論文の勉強をしていた日もありました。研究所の合同セミナーやウィンタースクールなど、各種セミナーも聴講しました。基礎から臨床まで様々な研究室の研究内容を知ることができたのと、一流の研究者同士の活発な議論を目の当たりにできて、非常に刺激的でした。

### <宿泊>

BMC (研究室の入っている施設) 内のゲストハウスに宿泊しました。シャワーは室内にありますが、キッチンと洗濯機がありません。キッチンは施設内にある共用キッチン (Neuroimmunology 部門所属) を自由に使うことができました。ただ洗濯は少々大変で、Max Planck (大学構内、BMC から徒歩 10 分ほどの施設) 内の洗濯機を使えることが後々判明するまでは、街中心部のコインランドリーまで行っていました。

### <金銭面>

渡航費 (ルフトハンザ、伊丹—羽田—ミュンヘン) …往復 175000 円

LMU BMC のゲストハウス宿泊費用…およそ 120000 円/月

### <観光地>

ドイツ、ミュンヘンの近郊にある研究所なので、街の中心部まで電車で 30 分かかりません。またハイ

デルベルクなど少し遠い場所でも、電車や長距離バスで比較的簡単に行くことができます。どこも美術館や博物館が非常に充実していますし、それぞれの地方の美味しいものを味わえます。

<その他>

川上先生の研究室は、基礎配属の時からお世話になっている研究室（免疫細胞生物学教室）の教授である石井先生に紹介していただきました。